

# 日本ポリアミン学会第15回年会

## (第三報)

2026年1月14日  
北里大学 安元 剛

日本ポリアミン学会 会員各位

平素より日本ポリアミン学会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。このたび、日本ポリアミン学会第15回年会の開催にあたり、プログラムがまとまりましたので、第三報としてご案内申し上げます。

本年会では、

「ポリアミン研究の新展開 — 基礎から応用まで」  
をテーマに、基礎研究から応用研究まで幅広い分野の最新成果を共有し、分野横断的な議論と交流を深めることを目的としております。  
多くの皆様のご参加を心よりお待ち申し上げております。

### 1. 開催概要

- 会期：2026年1月23日（金）～24日（土）
- 会場：北里大学 相模原キャンパス（IPEホール）
- テーマ：ポリアミン研究の新展開 — 基礎から応用まで

### 2. 事前参加登録について

事前参加登録および演題登録は、これまでにご案内した以下のフォームにて受け付けております。当日ご参加予定で、まだ事前登録がお済みでない方は、恐れ入りますがご登録をお願いいたします。

#### ► 参加登録フォーム

<https://forms.gle/hZwdCfS9QdWD9Bin6>

### 3. 参加費のお支払いについて

参加費は事前振込にてお願いしております。

当日ご参加予定で、まだお振込みがお済みでない方は、参加登録フォームの案内に従い、**2026年1月19日（月）**までに下記口座へお振込みください。

- ※ 年会費および研究交流会費は合算のうえ、下記口座へお振込みください。
- ※ 当日参加の場合は料金が異なりますので、事前のお手続きをおすすめいたします。

### **振込先**

1. GMOあおぞらネット銀行（金融機関コード：0310）  
支店名：うみ支店（支店コード：301）
  2. 口座種別：普通預金
  3. 口座番号：3116959
  4. 口座名義：ヤスマト コウ
- 

何かご不明な点等がございましたら、お気軽にお問い合わせください。  
引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

日本ポリアミン学会  
第15回年会 実行委員会

# 会場へのアクセス

## 【大学へのアクセスおよび所要時間】



1. 相模大野駅（小田急線）から大学へのアクセス（約 25 分）  
相模大野駅北口 1 番乗り場より北里大学病院・北里大学バス停下車
2. 相模原駅（JR 横浜線）から大学へのアクセス（約 25 分）  
相模原駅 2 番乗り場より相模大野駅北口行、北里大学病院・北里大学バス停下車

## 【大学バス停から会場までの経路】



# 座長と演者の方へ

## 【座長】

1. 座長の方は、担当するセッション開始3分前までに座長席にご着席ください。時間になりましたら開始してください。できる限り定刻での進行をお願いいたします。
2. 口頭発表の発表時間は12分、質疑応答は3分です。

## 【口頭セッション】

1. 発表方法はWindows11のPC・Office365による口頭発表です。PC操作は講演者自身で行なっていただきます。  
画像サイズ：ワイド画面(16:9), 4:3でも可。フォント: OS標準のみ
2. 前日までにご発表ファイルを以下のフォルダに入れて下さい。HDMI接続でご自身のPCでのご発表も可能ですが、時間の短縮のためファイル共有にご協力下さい。  
<https://kitasato.box.com/s/wf8chxbexwaybhco50hcjf9g5ogbrgci>
3. データの登録および動作確認  
ご自身のご発表のセッション前の休憩時間にデータの登録と動作確認をいたします。
4. データファイル名は「演題番号」\_(アンダーバー)「氏名」と付けてください  
(例) #01\_北里太郎

## 【ポスターセッション】

1. ポスター発表は縦のA0サイズでご印刷頂きますようお願い致します。
2. ポスターの掲示作業は12:30から貼り付けが可能です。15:00までに発表者自身で掲示をお願いします。  
講演番号を指定したボード、掲示用マグネットは事務局にて用意します。

## 日程表

### 1月23日(金)

- 12:30-13:00 受付  
13:00-13:10 開会の挨拶・諸連絡  
13:10-14:10 口頭セッションA (#O1-#O4)  
14:10-14:20 休憩  
14:20-15:20 口頭セッションB (#O5-#O8)  
15:20-15:30 休憩  
15:30-16:30 口頭セッションC (#O9-#O12)  
16:25-16:35 移動  
16:35-17:35 ポスター (P1-P7)  
17:35-17:45 事務連絡  
18:00-20:00 研究交流会

### 1月24日(土)

- 10:00-10:10 連絡  
10:10-11:25 口頭セッションD (#O13-#O17)  
11:25-11:30 移動  
11:30-12:30 総会  
12:30-13:15 昼休み  
13:15-14:15 口頭セッションE (#O18-#O21)  
14:00-14:10 休憩  
14:10-14:45 閉会

# 口頭セッション プログラム(1月23日)

## 口頭セッションA (#O1-O4) 13:10-14:10

座長：根本直樹

### # O1 13:10-13:25

#### サンゴ幼生の骨格形成時の pH 制御へのポリアミンの関与

○高橋有南<sup>1)</sup>、水澤奈々美<sup>1)</sup>、渡部終五<sup>1)</sup>、井上真莉菜<sup>1)</sup>、鈴木道生<sup>2)</sup>、  
井口亮<sup>3,4)</sup>、飯島真理子<sup>3,4)</sup>、安元純<sup>5,6)</sup>、中村崇<sup>7)</sup>、酒井一彦<sup>8)</sup>、廣瀬美奈<sup>9)</sup>、  
安元剛<sup>1)</sup>

<sup>1</sup>北里大学海洋生命科学部、<sup>2</sup>東京大学大学院農学生命科学研究科、<sup>3</sup>産業技術  
総合研究所ネイチャーポジティブ技術実装研究センター、<sup>4</sup>産業技術総合研  
究所地質調査総合センター、<sup>5</sup>総合地球環境学研究所、<sup>6</sup>琉球大学農学部、<sup>7</sup>琉  
球大学理学部、<sup>8</sup>琉球大学研究共創機構产学官共創ユニット

### # O2 13:25-13:40

#### GC-TOFMS を用いた稚サンゴのメタボローム解析とポリアミンの関わり

○窪田梓<sup>1)</sup>、生方正章<sup>1)</sup>、水澤奈々美<sup>2)</sup>、飯島真理子<sup>3)</sup>、安元純<sup>4)</sup>、安元剛<sup>2)</sup>  
<sup>1</sup>日本電子株式会社、<sup>2</sup>北里大学 海洋生命科学部、<sup>3</sup>産業技術総合研究所 地質  
情報、<sup>4</sup>琉球大学 農学部

### # O3 13:40-13:55

#### 超好熱性アーキア *Pyrobaculum calidifontis* における高温適応型ポリアミ ン生合成経路の解明

○藤崎大悟<sup>1)</sup>、前川和葉<sup>2)</sup>、石井友理<sup>1)</sup>、藤原伸介<sup>1,2)</sup>

<sup>1</sup>関西学院大 生命環境、<sup>2</sup>関西学院大院 理工

### # O4 13:55-14:10

#### 腸内細菌由来のポリアミンがキイロショウジョウバエの活動量に及ぼす影響

○藤田剛士<sup>1)</sup>、下川ひろみ<sup>1)</sup>、三保裕也<sup>1)</sup>、堀亜紀<sup>2)</sup>、門口響<sup>2)</sup>、倉石貴透<sup>2)</sup>、  
栗原新<sup>1)</sup>

<sup>1</sup>近大院 生物理工、<sup>2</sup>金沢大 医薬保健

## 口頭セッションB (#O5-O8) 14:20-15:20

座長：南澤磨優覽

### # O5 14:20-14:35

シロイヌナズナの木部分化制御におけるサーモスペルミン作用標的

○皿海充<sup>1)</sup>、徐耀<sup>1)</sup>、六田幸輝<sup>1)</sup>、西井裕一<sup>1)</sup>、高橋卓<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>岡山大学 大学院環境生命自然科学研究科

### # O6 14:35-14:50

**Nucleolin plays a role in thermospermine-dependent translation of uORF-containing mRNAs in *Arabidopsis thaliana***

○Fahad Mohammed Tonmoy Chowdhury<sup>1)</sup>、Koki Mutsuda<sup>1)</sup>、Taku Takahashi<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>Grad. Sch. Env. Lif. Nat. Sci. Tech., Okayama University

### # O7 14:50-15:05

小脳プルキンエ細胞での小胞型ポリアミントラ NSP オーター (VPAT) の発現と  
ポリアミン分泌

○表弘志<sup>1)</sup>、神谷舞優<sup>1)</sup>、中西深愛<sup>1)</sup>、日浅未来<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>岡山大学 学術研究院 医歯薬学域(薬)

### # O8 15:05-15:20

VPAT 依存的なポリアミン分泌による肺サーファクタント分泌制御

○日浅未来<sup>1)</sup>、早形奏美<sup>1)</sup>、園山和花子<sup>1)</sup>、福本彩加<sup>1)</sup>、上原美瑞紀<sup>1)</sup>、  
表弘志<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>岡山大院 医歯薬 生体膜生理化学

## 口頭セッション C (#O9-O12) 15:30-16:30

座長：高橋卓

### # O9 15:30-15:45

遺伝子発現に対するプロテシンとスペルミジンの協調/拮抗作用:DNA高次構造変化との相関

○小川遙士<sup>1)</sup>、西尾天志<sup>2)</sup>、吉川祐子<sup>1)</sup>、剣持貴弘<sup>1)</sup>、吉川研一<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>同志社大学 生命医科学研究科、<sup>2)</sup>産総研 モレキュラーバイオシステム研究部門

### # O10 15:45-16:00

NMR 解析によるスペルミンと CCUG リピート RNA の相互作用の解明

○小黒明広<sup>1)</sup>、樋山悠翔<sup>2)</sup>、河合剛太<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>東京慈恵会医科大学 分子生理学講座 体力医学研究室、<sup>2)</sup>千葉工業大学大学院 先進工学研究科 生命科学専攻

### # O11 16:00-16:15

eIF5A2 依存的な翻訳伸長を阻害する化合物の探索

○鈴木雅斗<sup>1)</sup>、米野雅大<sup>1)</sup>、安村凌介<sup>1)</sup>、三輪有由奈<sup>1)</sup>、小谷仁司<sup>2)</sup>、

松本健<sup>3)</sup>、秋本和憲<sup>1)</sup>、高橋智聰<sup>4)</sup>、五十嵐一衛<sup>5)</sup>、東恭平<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>東京理科大学 薬学部、<sup>2)</sup>島根大学 医学部、<sup>3)</sup>理化学研究所 環境資源科学研究中心、<sup>4)</sup>金沢大学 がん進展制御研究所、<sup>5)</sup>アミンファーマ研究所

### # O12 16:15-16:30

がん抑制遺伝子と合成致死の関係にある候補遺伝子群の同定

○松本健<sup>1)</sup>、高瀬恵<sup>1)</sup>、吉田稔<sup>1,2,3)</sup>

<sup>1)</sup>理化学研究所 CSRS 創薬シーズ、<sup>2)</sup>東京大学 特別教授室、<sup>3)</sup>東京大学 CRIIM

# 口頭セッション プログラム(1月24日)

## 口頭セッションD (#O13-O17) 15:30-16:30

座長：小黒明広

### # O13 10:10-10:25

#### マウス骨格筋萎縮におけるポリアミン代謝経路の減弱

大藪葵<sup>1,4)</sup>、佐藤友紀<sup>2)</sup>、川口留奈<sup>1)</sup>、吉岡潔志<sup>1,3)</sup>、伊藤尚基<sup>4)</sup>、江口貴大<sup>4)</sup>、  
後藤仁志<sup>5)</sup>、吉澤達也<sup>5)</sup>、小川佳宏<sup>6)</sup>、小野悠介<sup>7,8)</sup>、三浦進司<sup>2)</sup>、

○亀井康富<sup>1)</sup>

<sup>1</sup>京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 分子栄養学研究室、<sup>2</sup>静岡県立大学 食品栄養科学部、<sup>3</sup>一般社団法人プロダクティブ・エイジング研究機構 (IRPA)、<sup>4</sup>国立開発法人 国立長寿医療研究センター ジェロサイエンス研究センター、<sup>5</sup>京都府立医科大学大学院 医学研究科 細胞生物学、<sup>6</sup>九州大学大学院 医学研究院 病態制御内科学、<sup>7</sup>熊本大学 発生医学研究所、<sup>8</sup>地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター

### # O14 10:25-10:40

#### L-アルギニンとリモノイドによるVDR-ポリアミン代謝軸の再構築はアルツハイマー病モデルマウスの病態進行を抑制する

○南澤磨優覽<sup>1,2)</sup>

<sup>1</sup>千葉工大 先進工学研究科 生命科学専攻、<sup>2</sup>先進工学部 教育センター

### # O15 10:40-10:55

#### L-アルギニンとリモノイドで治療したヒト Alzheimer's 病モデルマウスの腸内環境の分析

○数藤俊輔<sup>1)</sup>、羽根礼人<sup>1)</sup>、南澤磨優覽<sup>1,2)</sup>

<sup>1</sup>千葉工大 大学院 先進工学研究科 生命科学専攻、<sup>2</sup>千葉工大 教育センター

# O16 10:55–11:10

腸内細菌叢と Polyamine 代謝のリモデリングによる Alzheimer's 病モデルマウスの病態抑制

○赤城紫音<sup>1)</sup>、カルレッティ ソフィア智美<sup>2)</sup>、坂本泰一<sup>1,2)</sup>、南澤磨優覽<sup>2,3)</sup>

<sup>1</sup>千葉工業大学 工学研究科 工学専攻、<sup>2</sup>千葉工業大学 先進工学研究科 生命科学専攻、<sup>3</sup>千葉工業大学 先進工学部 教育センター

# O17 11:10–11:25

大腸管腔内の腸内細菌由来ポリアミンの生体移行

○小野菜摘<sup>1)</sup>、生田かよ<sup>1)</sup>、中村篤央<sup>1)</sup>、栗原新<sup>2)</sup>、松本光晴<sup>1)</sup>

<sup>1</sup>協同乳業 技術開発、<sup>2</sup>近畿大 生物理工

口頭セッション E (#O18–O21) 13:15–14:15

座長：松本靖彦

# O18 13:15–13:30

分裂酵母のポリアミン生合成経路におけるアグマチナーゼの機能解析

○桐本さくら<sup>1)</sup>、田中寛大<sup>1)</sup>、西原幹広<sup>3)</sup>、田淵光昭<sup>2)</sup>、田中直孝<sup>2)</sup>

<sup>1</sup>香川大院 農学研究科、<sup>2</sup>香川大 農学部、<sup>3</sup>西野金陵株式会社

# O19 13:30–13:45

白カビチーズ熟成過程における糸状菌の生育がポリアミン系機能性成分の生成に与える影響

○小川音乃<sup>1)</sup>、石井友理<sup>2)</sup>、藤原伸介<sup>1,2)</sup>

<sup>1</sup>関西学院大院 理工、<sup>2</sup>関西学院大 生命環境

# O20 13:45–14:00

### ポリアミンを用いた CO<sub>2</sub>鉱物化法の検討

○阿部竜万<sup>1)</sup>、水澤奈々美<sup>1)</sup>、渡部終五<sup>1)</sup>、鈴木道生<sup>2)</sup>、井口亮<sup>3,4)</sup>、

飯島真理子<sup>3,4)</sup>、安元純<sup>5,6)</sup>、森安賢司<sup>7)</sup>、吉馴太一<sup>7)</sup>、廣瀬美奈<sup>8)</sup>、安元剛<sup>1)</sup>

<sup>1</sup>北里大学海洋生命科学部、<sup>2</sup>東京大学大学院農学生命科学研究科、<sup>3</sup>産業技術総合研究所ネイチャー・ポジティブ技術実装研究センター、<sup>4</sup>産業技術総合研究所地質調査総合センター、<sup>5</sup>総合地球環境学研究所、<sup>6</sup>琉球大学農学部、<sup>7</sup>日本海水、<sup>8</sup>琉球大学研究共創機構産学官共創ユニット

# O21 14:00–15:15

### ポリアミンが水生生物に与える影響評価 一飼育実験と遺伝子解析によるアプローチー

○井口亮<sup>1,2)</sup>、儀武滉大<sup>2)</sup>、水澤奈々美<sup>3)</sup>、飯島真理子<sup>1,2)</sup>、安元純<sup>4)</sup>、安元剛<sup>3)</sup>

<sup>1</sup>産業技術総合研究所 ネイチャー・ポジティブ技術実装研究センター、<sup>2</sup>産業技術総合研究所 地質調査総合センター、<sup>3</sup>北里大学 海洋生命科学部、<sup>4</sup>琉球大学 農学部

# ポスターセッション プログラム

[2026年1月23日 16:35-17:35]

P1 ヒト Alzheimer's 病モデルマウスの病態抑制における L-アルギニンとリモノイドによる腸内環境のリモデリング

○羽根礼人<sup>1)</sup>、瀬能彩音<sup>2)</sup>、数藤俊輔<sup>1)</sup>、南澤磨優覽<sup>1,3)</sup>

<sup>1</sup>千葉工業大学院 先進工学研究科 生命科学専攻、<sup>2</sup>千葉工業大学 先進工学部 生命科学科、<sup>3</sup> 千葉工業大学 先進工学部 教育センター

P2 リモノイド及び L-アルギニンで治療したヒト Alzheimer's 病モデルマウスの腸内細菌叢解析

○瀬能彩音<sup>1)</sup>、羽根礼人<sup>2)</sup>、数藤俊輔<sup>2)</sup>、坂本泰一<sup>1,2)</sup>、南澤磨優覽<sup>2,3)</sup>

<sup>1</sup>千葉工業大学 先進工学部 生命科学科、<sup>2</sup>千葉工業大学院 先進工学研究科 生命科学専攻、<sup>3</sup>千葉工業大学 先進工学部 教育センター

P3 生息環境とポリアミン代謝が金盞花の二次代謝産物の生成に及ぼす影響

○倉持華<sup>1)</sup>、南澤磨優覽<sup>1,2)</sup>

<sup>1</sup>千葉工業大学先進工学研究科生命科学専攻、<sup>2</sup>千葉工業大学先進工学部教育センター

P4 ゼニゴケにおけるポリアミン代謝経路の解明

○西祥高<sup>1)</sup>、本瀬宏康<sup>2)</sup>、高橋卓<sup>2)</sup>、高橋芳弘<sup>3)</sup>

<sup>1</sup>九州産業大学 大学院工学研究科、<sup>2</sup>岡山大学 大学院環境生命自然科学研究科 <sup>3</sup>九州産業大学 生命科学科

P5 Alzheimer's 病モデルマウスの腸内細菌叢とポリアミン代謝に着目した病態抑制

○カルレッティ ソフィア智美<sup>1)</sup>、赤城紫音<sup>2)</sup>、南澤磨優覽<sup>1,3)</sup>

<sup>1</sup>千葉工業大学 大学院 生命科学専攻、<sup>2</sup>千葉工業大学 大学院 工学専攻、

<sup>3</sup>千葉工業大学 教育センター

P6 シロイヌナズナにおける Arginine decarboxylase の発現制御を介した putrescine 恒常性維持機構

○平郡雄太<sup>1)</sup>、安室美陽<sup>2)</sup>、狩野泰平<sup>1)</sup>、海藤篤<sup>1)</sup>、崎浜靖子<sup>1)</sup>、後藤優弥<sup>1)</sup>、山下由衣<sup>1)</sup>、内藤哲<sup>1)</sup>、尾之内均<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>北海道大学大学院 農学研究院、<sup>2)</sup>北海道大学 農学部

P7 生体ポリアミンおよび合成ポリエチレンイミンの水生動物における系統特異的毒性

○水澤奈々美<sup>1)</sup>、飯島真理子<sup>2,3)</sup>、井口亮<sup>2,3)</sup>、安元純<sup>4,5)</sup>、廣瀬美奈<sup>6)</sup>、阿部竜万<sup>1)</sup>、高橋有南<sup>1)</sup>、大関輝信<sup>1)</sup>、鈴木道生<sup>7)</sup>、渡部終五<sup>1)</sup>、安元剛<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>北里大学 海洋生命科学部、<sup>2)</sup>産業技術総合研究所 ネイチャーポジティブ技術実装研究センター、<sup>3)</sup>産業技術総合研究所 地質調査総合センター、<sup>4)</sup>総合地球環境学研究所、<sup>5)</sup>琉球大学 農学部、<sup>6)</sup>琉球大学 研究共創機構産学官共創ユニット、<sup>7)</sup>東京大学大学院 農学生命科学研究科